平木

[illegible]を免[illegible]之ヲ[illegible]
所[illegible]可[illegible]ハ[illegible]博[illegible]入
リ[illegible]ヲ以テ此一點ニ[illegible]上
京ヲ早[illegible]ハ[illegible]之ヲ延ス
モ小生カ宮[illegible]上ニ[illegible]
[illegible]ニ[illegible]関係[illegible]カ
只[illegible]第二點ニ[illegible]地カ
ニ[illegible]ナ[illegible]迄ニ[illegible]
[illegible]ニ[illegible]
[illegible]ヲ[illegible]ヲ[illegible]
[illegible]ヲ[illegible]ヲ[illegible]
[illegible]一年[illegible]二年ニ[illegible]
[illegible]ヲ[illegible]カ[illegible]
[illegible]ヲ[illegible]
[illegible]ヲ[illegible]
[illegible]年[illegible]
[illegible]ヲ[illegible]
[illegible]ヲ[illegible]
[illegible]

一[illegible]ナカルヘシ[illegible]
如何ナル重職ヲ奉スルモ
以テ地方ノ人心ヲ鼓舞スルニ
足ラサルヘシ 併テ旧習ヲ一新
シ大都ニ出テ天下ノ
ノ志士ト談シ傍ラ文学
ヲ渉猟シテ以テ他日ノ大
成ヲ期スルニ如カスト決心
来リタル者ナリ 政業ヲ思ヒ
[illegible]消費スル所ノモノ
ノ費額亦甚タ僅少ナル事アラサレ
ハ[illegible]事ヲ来タシ心労[illegible]
事ヲ償フ能ハス 是ヲ以テ
コレ時日ヲ経過セシメ[illegible]
自ラ一書生ト為リテ[illegible]
奮仲[illegible]遊[illegible]
叡[illegible]家郷ヲ[illegible]
ト上京シタル次第ニ西遊

甚ニシテ実ニ我家ニ[illegible]
ト上京シテ其後ニ西郷
ナリマシ
退テ我カ人ニ之ヲ従サセ奉ランヘ
ルヲ賀ス座ノ者志気ニ
全ク志気アル者ハ賀薩
ニ全ト生シ三機ニ処サセ在
相ノ藤田隆ケ江両村出シ
来士ハ争サセリ世ヲ百万ノ
ニ撃ノ兵ヲ得セシメ賀薩
来キカ為ニ一事ニ因
サ得ハ独リ志カ来リテ
之ヲ力抜肋サナサシテ到底
来ルヲ以テ悪カ為ノ能ハサルヘ
ヒ四生ホカ如キハ此ヲ賀薩者
為ナ以テ正ヲ奉ル丈モ抜
助者ノ言ハ都トシテ此数
ニ供給安クレソ為邦ニ霧
因サ充タサセ得ニヤ家事

ら陸路安りしゝ為め雲
母を充たすに足らざりしや家康
已に窮して遂に將遠遠
いとゝス（地價の騰貴の為め苦しみたり一因）
陸田氏と共に三陸を
発せんとす家康
ら京都を任ずるに
ありしを家康
ありしを至りて家康
金り窮を遁退已に谷さう
ントするの勢を立至り北
郡石巻田に於て地を賊
を敗りしを聚へ
ず知らるゝ吉の擊ガ吉
ず謀り以て所事を
を殺せんと欲へ
和た解カうすり為用下
ら惰怠如是正家
印ら改革を急ぐを要

和十年
ゝ際如何如是正当家
印ゝ改革ヲ急ノ事
意地蹟ヲ而復職ヲ出ス
しを
正当ノ為出来ル
浜田氏ヲ始キ二人ト屋ト
モ且ツ内ヲ理ス
指ヲ屋しを同職ヲ
待ヘを故ニ此ヲ以テ
所有ヲ地所ヲ賣却を
負債償還を目論を
如ク陳せさるを以テ
言ふるを故を
寡ヲ伸陳すを
如き事を以テ
事を明らを如
ヲ確定せさを
小生を三四年を

[illegible]ヶ月確定せさるを以て
[illegible]年三四月を
交[illegible]
[illegible]
[illegible]情海[illegible]
公日[illegible]
陳[illegible]
[illegible]下之[illegible]九月五國
[illegible]
陛下[illegible]
[illegible]政[illegible]
[illegible]十八
[illegible]探[illegible]
十九日[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

之候處、猶各地之情況
承知致度ニ付、且ツ加奈陀
及布哇等諸國之一週モ
致シ帰途ニ就キ東京坂
之候得共由廻リ大遅。
且其後之處此等ニ於テ兎
是非とも此際ニ國志者
一同東京ニ加盟スル
ニ傾キツヽアル積ニ候處、實際
人モ少ナキ事ナレバ遂ニ進ミ居ル事也
而果シテ僅カニ四ケ所ノ人員
太ケ之人ハ保差別改進黨ニ加盟セシ
込ミ候ハ我輩人名簿
ニ加入候様推擧シテ上京スル
事ト相成居申候詳細之
景況ハ田舎新聞大坂
毎日新聞ホカ多分掲
載アルヘクト存候ニ付御清
序ニ御一覧可被下候且ツ

毎朝新聞ハ勿論掲載
致ハンヿトヲ考フル
序ニ一覽ヲ乞フ且ツ
講演ニ於テ法律ニ關
シ十月肥前要塞
司令官ヲ分隊長ト
シ中佐ヲ以テ
際ニ於テ特ニ
國家ヘ通信ヲ置
之ニ二名ヲ同
ヲ軍艦宴席ニ使ス
前記三回ニノミ討論演
說ハ要スルニ
中加藤氏カ演說セサリ
吉田ノ人ヲ國家ヲ善
セサリシ
右聞ク所陸上石橋
ニ在リ肥后ニ於テ我カ

中略し

去聞多家陸奥石橋
之毒を肥后に敗れ多
改進党を人士中西多
会同を要す諸家を説
論に合いて立憲
宮川然り説に曰く自由
党と名自由党の解散あり改進
党と改進党と解散あり一つは
剛に過ぎ一つは柔に過ぎ
剛なるを剛なるべ
からざるに堪えざる或は
柔なるを可かるべし堪
会中剛柔会同要に始て
勢力を下に及ぼすべきや況
ヒタスラ人士盡く会同に入る
クヒタスラ政府を仆さんとす
ヲ（武士以ツテ文ヲ犯ス）自由党の改
進党なり互に両立ス
東西に旗を揚げ抑も公平
ノ心を欠くもの二ツ来る所無
正なれ互国家者の法令ト云フヘ
カラス故に政府の改進党ノ
勢力を憚スルヲ勉メテ自由
改進ヲ義ヲ為ん者ヲ絆会

ノ心ヲ穴リモノニシテ本末ノ区
別ナキ国家有ノ法令トシテハ
カラス亦タ故ニ乃チ改進党ノ
勢力ヲ憚スシテ勉メテ自由
改進ニ主義ヲ抱ク者ヲ糾合
セント欲スルノ意ナリ
ヲ云フ事
ハ土佐ト脈ヲ同ジクスル柳川移
宣ニ力ヲ改進党ニ
カ依テ以テ宣慎鉄腐ニ
事ハ公ニ
ヲ撰ニ二寮議
ヲ立リ是レ亦タ九条改
進党ノ撰トナリ今ヨリ
宮州氏カ言ヲ求メテ改
度ヲ攻撃スルノ如キ
見ハ何リ進ニ二党ノ中就
レニカ今回ニテ
ムルヲ勉メ高ニ之ヲ勉
メカルノヲ以テ常ニ二党ノ
撰ヲ撰見スルヲ勉メ
自カラ拙劣ヲ
ントスルモ
高ヲ
去年ヨリ肥後ニ帰

延岳ノ警トナレリ今ヨシ
宮州紙カ言フヲ以テ
度々攻撃スルノ如ク密ニ
見ユル何リ速ニ二岳ノ中就
レラカ今回ニ於テ力ヲ強
ムル可ク勉ムベキ高ニ之ヲ勉
ムルノミナラス常ニ二岳ノ
警ヲ撓見スルヲ勉ムシ
自カラ拙ク為ス為ニ入ラ
ントスルヲ見ル以テ
高明ヲ望ム
去月新聞ヨリ肥后ノ帰
京ノ所ニ西公ヲ一見
各位ヲ伺フ者ト
為ス為ニ高示ヲ便
ラスノミ毎ニ
二月廿七日　平子屋義
松更君

東京神田
猿楽町五番地板垣武三
雲英貞子殿

江蘇臨三 陸郵

一冊 本廣郵

本

郵便小包